

## 第六章 雜纂

### 第一節 温泉

火山活動ノ遺物トシテ諸處ニ温泉ノ湧出アリ、此地方ノ温泉ハ地質構造線ト密接ノ關係アルモノ、如シ、而シテ此等ノ温泉ニハ次ノ如キ共通ノ特徴アリ。

(イ) 一二ノ例外ヲ除キテハ此地方ノ凡テノ温泉ハ多少ノ硫化水素瓦斯ヲ泡出ス。

(ロ) 何レノ温泉モ海岸ニ餘リ遠カラザル地點ニ存在ス。

以下簡單ニ此等温泉ニ就テ記述ヲ試ミントス。

湯ノ川温泉 ハ函館港ノ東約六「キロ、メ」ノ地點ニアリテ津輕海峽ニ近ク存在ス、流紋岩ヲ被覆スル沖積砂層ヨリ湧出シ多量ニ鐵分ヲ含ミ硫化水素ヲ放出ス。

根田内温泉 ハ惠山ノ南麓海岸ニアリテ惠山ノ噴出物中ヨリ湧出ス同ジク硫黃泉ナリ。

惠山温泉 ハ惠山火山ノ舊火口平原中ニ湧出シ此火山ノ活動ノ名殘ナリ。

河汲温泉 ハ河汲村ノ海岸ヨリ河峠山道ヲ登ルコト約二「キロ、メ」ノ地點ニアリテ流紋岩ノ裂罅ヨリ湧出シ攝氏四十七度

ノ溫度ヲ有ス、可ナリ多量ノ硫化水素瓦斯ヲ放出ス一「リットル」中ニ含マル、固形體ハ〇、一〇四〇「グラム」ニシテ其成分左ノ如シ。

ClNa	0.0498
ClMg	0.0187
ClCa	0.0034
MgSO <sub>4</sub>	0.0198
CaSO <sub>4</sub>	0.0015
SiO <sub>2</sub>	0.0015

大舟温泉 ハ大舟川ニ沿フテ河口ヨリ約二「キロ、メ」ノ地點ニアリ、其地ニ發達スル暗綠色富士岩ノ裂罅ヨリ湧出ス、同ジク硫化水素ヲ放出ス。

鹿部温泉 ハ鹿部村ノ海岸ヨリ湧出ス同ジク硫化水素ヲ含ム。留ノ湯温泉 ハ折戸川ニ沿フテ河口ヨリ約七「キロ、メ」ノ處ニアリ、駒ヶ岳火山ノ噴出物ナル集塊質泥流ノ隙間ヨリ湧出ス。

濁川温泉 濁川ノ樺鉢平原ハ實ニ温泉湧出ノ活動舞臺ナリ、此平原中ニハ菊ノ湯、龜ノ湯、鶴ノ湯其他數箇處ニ温泉ノ噴出アリ、何レモ硫化水素瓦斯ヲ盛ニ放出ス、此等温泉ノ外ニ此平原ノ彼方此方ヨリ冷泉ト共ニ硫化水素瓦斯ヲ盛ニ噴出シ



ト脂狀光澤ヲ示ス。

熊泊村礫谷ニアル硫黃鑛床モ此種類ニ屬スルト云フ。

既ニ述ベタル濁川平原ノ「サイノ河原」ニアル硫黃沈澱物ハ硫化水素瓦斯ヲ伴フ冷泉ヨリ沈澱セルモノニシテ色ハ灰色又ハ黃色ニシテ微細ナル球狀體ノ集合物ニシテ魚卵狀ヲ呈ス。

金屬鑛床ハ凡テ硫化物ニシテ且鑛脈ナリ「ノビルバ」鑛山ハ函館ノ東約二十五「キロ、メ」ノ處「ノビルバ」澤ノ水源地ニアリ海岸ヲ去ルコト遠カラズ、古生層ヲ貫ク銅鑛脈ニシテ幅廣カラズ、走向北二十度乃至四十度東ニシテ傾斜甚急ナリ充脈鑛物ハ石英ナリ、熊別鑛山ハ戸井村附近熊別川ノ中流ニアル銅鑛脈ニシテ幅狭キ多クノ平行脈アリテ走向北四十度東ニシテ傾斜殆ンド八十度ナリ同ジク古生層ヲ貫キ充脈鑛物モ同様ナリ。

此他戸井川ノ中流ニハ石英ヲ充脈鑛物トセル黃鐵鑛ノ脈アリ尚松倉川ノ一支流金堀澤ニハ重晶石(奧羽式)ヲ充脈鑛物トセル硫化金屬ノ脈アリト云フ。

汐首岬ノ尖端ヨリ東ニ進ム事約百「メ」ノ處ニ石英脈アリテ海岸ニ露頭ヲ出ス其幅約二「メ」ニシテ走向ハ北二十度乃至三十度西ニシテ少量ノ黃銅鑛及ビ黃鐵鑛ノ結晶ヲ混ズ、此石英ハ屢重晶石後ノ假像ヲナス(石英ガ重晶石ヲ被覆シテ沈澱シ後ニ重晶石ガ溶ケ去リタルモノ)其母

岩ハ綠色ノ富士岩ナリ、此石英ハ分析ノ結果僅ニ痕跡ノ金ヲ含ムヲ知レリ。